

少年センターだより

平成30年5月15日
発行
日野町少年センター
日野町河原1丁目1番地
TEL/FAX 0748-53-1325
<http://www.rmc.ne.jp/h.g.s.c>

「子どもは未来からの留学生」

日野町教育委員会
教育長 今宿 綾子

青葉・若葉の芽吹く美しい季節になりました。新年度、多くの事業もスタートしています。
今年の大河ドラマは「西郷どん」。明治維新をリードした薩摩藩が舞台です。日本の歴史上、とてつもなく大きな事を成し遂げた人が次々と生まれた薩摩の加治屋町。町の人々の強い絆も生き生きと描かれています。

薩摩藩には「郷中教育」という独特の教育制度がありました。自治の力で生まれた教育制度で、郷の若者が年齢を超えて互いに教え合い学び合うというものです。「負けるな弱い者をいじめるな嘘をつくな」という教えも「生きる道」として固く守らなければならぬものでした。

この教えは決して古いものではなく、人の道の根本が正直で誠実であることは、今も昔も、またどこにおいても変わることはありません。

新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」がキーワードとなっています。「自ら課題をもち、自分の力を最大限に伸ばし、未来を切り開いていく」という学びの姿はすでに幕末でも大切にされていたこと、そしてその根本は相手への思いやり、礼儀作法、体の鍛錬であり、これらは日本の教育の誇れる特徴だと改めて思います。

近年は少子化により異年齢での活動が少なくなりましたが、同じ地域に住む人たちが個も全体も大切にしながら、自発性や協調性、考える力を身につけ、強い心を育てるといふ教育はかけがえのないものであり、町でも「ふるさと日野教育、ふるさと絆事業」でしっかりと実現していきたいと考えています。

今年も「あいさつ運動、親子・家庭読書」に取り組みます。これらは学校や家庭だけではなく地域の方々と共に進めていくことによって、力強いものになると思います。「おはよう ありがとう、すみません」心のこもった言葉が飛び交う支えあいの町、家庭での読書習慣で得た広い知識や豊かな心、考える力を通して未来の創り手となる子ども達を育てるといふ目標を、皆で共有していきたいものです。
これからも地域に連綿と続いているよき伝統を守りつつ、ふるさとの絆を学校や地域活性化の切り口としながら、町の教育推進に努力する決意です。今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

少年補導（委）員会合同総会が開催されました

平成30年4月24日（火）東近江市立五個荘コミュニティセンターにおいて、東近江警察署日野町少年補導委員会・東近江少年補導員会合同総会が開催されました。その席上で、平成30年3月末をもって退任された加納さなさん、木元利夫さん、西河新五郎さんに感謝状が贈られました。加納さんは28年、木元さんは8年、西河さんは4年の長きにわたり青少年の非行防止・健全育成にご尽力いただきました。ありがとうございました。



平成30年度日野町少年補導委員

公民館区	自治会	氏名
日野	大窪5区	◎森田 貞夫
	大窪5区	町田 絹子
	上野田	池内美代子
	村井1区	岡 登志男
	大窪	樫野 賢一
	五月台	大宗正和気
	松尾2区	河副 正美
東桜谷	奥之池	小森 慶一
	原	☆森田貴美恵
西桜谷	野出	谷口かおる
	安部居	☆川原 繁
西大路	音羽	○岡村 忠一
	西大路1区	道津 豊吉
鎌掛	鎌掛第2	竹村 一男
	鎌掛第5	竹村 久子
南比都佐	下迫	藤澤 義晃
	上駒月	岸村 昌光
必佐	湖南カライ	吉澤 茂樹
	内池東	安田 均
	小谷	富田知津子
	三十坪上	富田 忠夫
	山本	山添 秀雄
中山西	☆岡崎 弘	



また同時に開催された日野町少年補導委員会総会で、日野町長・東近江警察署長から少年補導委員23名に委嘱状が交付されました。これから2年間青少年の健全育成にご尽力いただきます。

総会で、会長には森田貞夫さん、副会長には岡村忠一さんが選出されました。また、平成30年度の活動方針等が決定されました。



少年補導委員退任にあたり

加納 さな

少年補導委員へ委嘱されたのは、平成2年だったと思います。その頃は、携帯電話もなく公衆電話の時代で、電話ボックスの見回りも行っていました。その後コンビニも出来、子ども達が集まるようになり、パトロールや声かけを行いました。
時代も変わり、日一日と進化するスマホやライン、SNS、とても便利である一方、間違えと恐ろしい凶器となります。又、危険ドラッグの心配もあります。田舎だから大丈夫ということはありません。
最近はどこで遊んでいるのか子ども達もあまり見かけなくなったのも時代の流れを感じます。
これからを担う子ども達の健全育成のため、補導委員の仕事は地道な活動ですが、パトロール、あいさつ運動は大切な活動です。日野中学校でのあいさつ運動、最初は戸惑っていた生徒達も最近では向こうから大きな声であいさつをしてくれるようになりうれしい限りです。そして幼稚園や小学校でのペアプサートの啓発活動等とても大切だと思います。
私も地域の一員として声かけや見守りを続けたいと思います。長い間お世話になりました。ありがとうございました。



少年センターの活動



◎補導活動の推進

- 青少年の非行を未然に防ぎ、早期に発見・指導するため少年補導委員の協力を得て青色パトロール車による街頭補導活動を行います。
- 中学校校門前で「朝のあいさつ運動」を少年補導委員会・主任児童委員・保護司会・更生保護女性会と合同で行います。



◎環境の浄化

- 図書等の販売店に対しての立ち入り調査を行い、青少年に有害な図書等が適正に扱われているか点検を行います。
- 小学校で薬物乱用防止教室を実施する等、少年に悪影響を及ぼす環境の浄化に努めます。

◎子どもの学習支援事業

- 基礎、基本的な学習内容が十分に定着していない中学生等に大学生等のボランティアが将来の夢の実現のため、学習支援（IPPO 一歩）を行います。

◎無職少年の就学、就労の相談と支援

- 無職少年の自立をめざして、就労や就学等社会参加に向けた相談や働きかけを行います。
- 少年、保護者等からの問題行動、不登校等の相談に関係機関と連携してアドバイスを行う等健全育成に努めます。

◎非行防止の啓発

- 「少年センターだより」を年4回発行し、非行防止の啓発に努めます。
- 少年補導委員会のペーパーサートにより、幼児から小学生を対象に非行防止教室を行います。
- 青少年健全育成諸団体と連携し、非行防止にかかる研修会や啓発活動に参加し意識高揚に努めます。



◎関係機関との連携

- 少年センター運営協議会を開催し、小中高等学校や地域、関係機関との連携を深めます。

平成29年度の活動状況

◎補導活動

小学校区パトロール 41回 延べ80人
補導委員等街頭活動 49回 延べ217人
朝のあいさつ運動 29回 延べ107人
氏郷まつりパトロール 8回 延べ50人
量販店等パトロール 5回 延べ10人

◎啓発活動

広報誌「少年センターだより」発行4回
幼稚園防犯教室（ペーパーサート）
日野、西大路、必佐幼稚園、桜谷こども園
薬物乱用防止教室（6年生対象）
日野、南比都佐、必佐、桜谷小学校
青少年の非行・被害防止滋賀県協調月間
啓発（フレンドマート日野店外）
東近江警察署万引き防止啓発
（フレンドマート日野店）

◎無職少年等相談

相談・来所者数（延べ人数）
中学生 90人、高校生 35人
有職少年 21人、無職少年 3人
電話相談数（延べ人数）
高校生 8人、有職少年 2人
就労相談（延べ人数）
高校生 2人、無職少年 3人、
有職少年 8人

◎環境の浄化

有害図書立入調査 24回
延べ9店舗
刃物取扱店立ち入り調査 7店舗

5月の活動予定

- 18日 立入調査員研修会
- 22日 有害図書立入調査
- 31日 新任補導員研修会

6月の活動予定

- 6日 少年センター所長会
- 7日 少年補導委員会幹事会
- 12日 有害図書立入調査
- 20日 無職少年対策指導員研修
- 21日 少年補導委員会定例会
- 26日 有害図書立入調査

毎週火曜日 朝のあいさつ運動
毎週金曜日 街頭補導
毎週金曜日 学習支援IPPO(一歩)
センター職員随時パトロール

1人で悩まないでまずは相談を

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごと相談を行っています。本人だけでなく、家族の方の相談も受けています。無職少年の就労・就学の支援も行っています。お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

○電話相談 ○面接相談

○相談時間：月～金 9:00～16:30

日野町少年センター（日野町勤労福祉会館 2階）

電話 0748-53-1325

E-mail hino.t-syonen@rmc.ne.jp

不正大麻・けし撲滅運動

5月1日から6月30日

マリファナの原料となる大麻や、麻薬の原料となるけしは、法律で栽培や所持が禁止されています。しかし、大麻やけしは自生するために、空き地や道端に生えていたり、不正とは知らずに育てている人がいます。

不正に栽培されている大麻や疑わしいけしを発見したときは、最寄りの健康福祉事務所（保健所）、又は警察署に連絡してください。